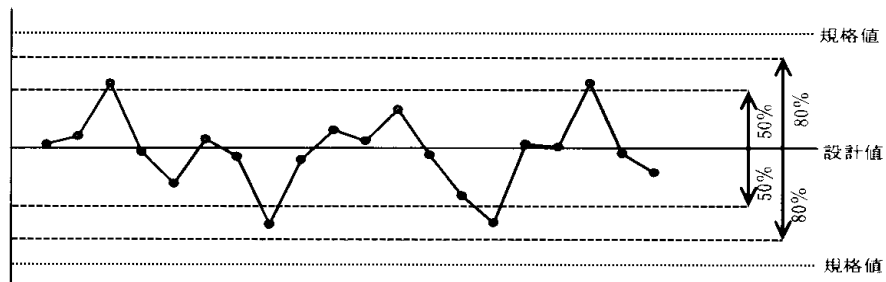


別紙 1 (出来形及び品質のばらつきの考え方)

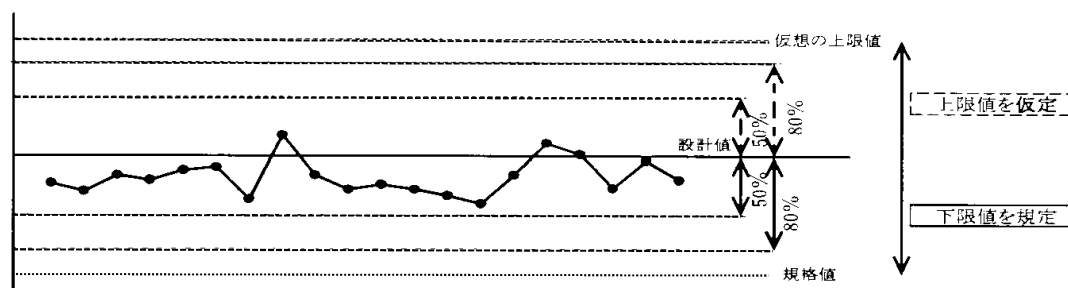
[管理図の場合]

(上下限值がある場合)

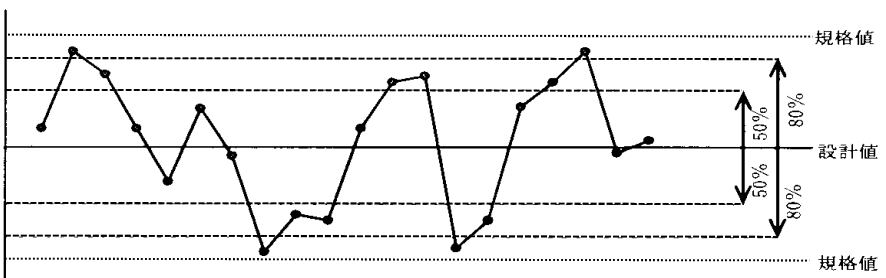
①ばらつきが50%以下と判断できる例



(下限値のみの場合)



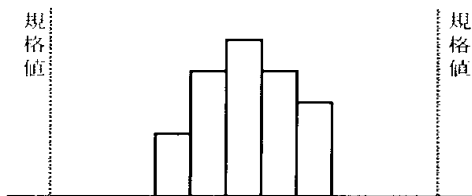
②ばらつきが80%以下と判断できる例



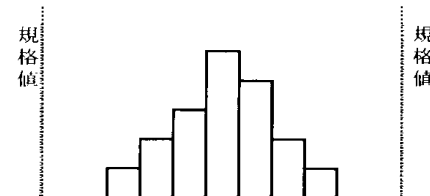
※出来形及び品質管理における規格値が下限値のみ規定されている場合には、これと同等の値を上限値にも仮定し、ばらつきを判断する。

※生コンクリートのスランプ、空気量、標準養生の圧縮強度、単位水量についてはレディミクストコンクリートの品質を保証するための必要な品質管理であるため、工事成績評定の品質の評価対象にしない。但し、コンクリート現場養生及びテストハンマーの圧縮強度については、この限りではない。

[度数表またはヒストグラムの場合]  
ばらつきが小さい



ばらついている



ばらつきが大きい

